

医療技術がもたらす社会課題の経営学的分析

工学部 技術・経営工学科 技術社会評価研究室 田代 昌彦

本研究の概要

延命治療など、近年の医療技術の進歩がもたらす社会課題に対して、経営学的手法による分析を行います。得られた知見を基に、医療機関における意思決定支援の仕組み、医療従事者と患者・家族との対話の在り方、医療制度・倫理指針の整備などへの応用可能性を検討します。

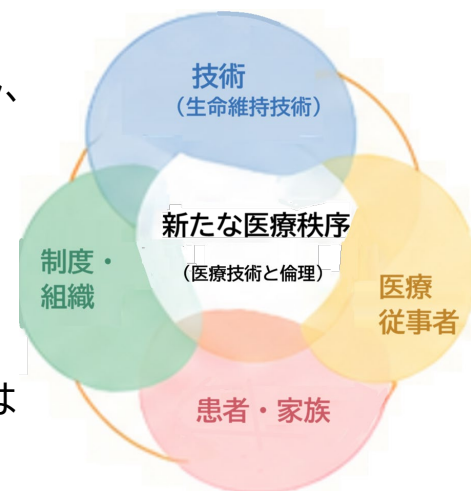
課題と背景 解決方法

【課題と背景】医療技術の進歩は、多くの疾患の治療を可能にし、人間の寿命を大幅に延長してきました。一方で、人工呼吸器、人工栄養、集中治療技術などの生命維持技術の発展は、従来であれば死として受け入れられていた状態においても生命維持を可能にしました。同様に、出生前診断技術の発展は、出生に関する新たな意思決定を可能にしています。

その結果、医療現場では「どこまで治療を継続するべきか」「患者本人の意思をどのように尊重するか」「家族や医療従事者はどのように意思決定に関与するべきか」といった、従来の医療制度や倫理的枠組みでは十分に整理できない課題が生じています。

【解決方法】本研究では、延命治療に伴う尊厳死に着目し、技術の発展が医療現場の意思決定、組織運営、患者・家族・医療従事者の関係性に与える影響を経営学的視座から分析します。特に、医療技術と制度・組織・倫理との相互作用に着目し、技術進歩によって顕在化する新たな課題の構造を明らかにします。

【期待される成果・応用】本研究により、①医療技術がもたらす倫理的・社会的課題の体系的な可視化、②新たな医療技術に対応した医療制度・組織運営・意思決定支援のあり方に関する知見の提供、③患者・家族・医療従事者間の合意形成プロセスの改善に資する指針の提示を目指します。



アピールポイント

医療を題材とした経営学的分析は、これまで医療経済学などの費用対効果の分析が蓄積されてきました。本研究では医療技術と社会の関係性を経営学の視点で分析することで、社会課題や倫理課題の対策・問題解決の一助となることを期待します。

特許情報およびTechnology Readiness Level(技術成熟度) なし

学術論文等

- 田代昌彦 (2020)「医薬品の社会問題の発生メカニズム -形式化のプロセスに基づく分析を通じて-」『日本経営倫理学会誌』第27巻第1号, 293-305頁.
 田代昌彦 (2023)「医療技術イノベーションにおける併存する開発-普及プロセス:我が国の粒子線技術の事例分析を通じて」『組織科学』第49巻第2号, 72-87頁.
 田代昌彦 (2024)「医薬品と病気の社会的形成:脂質異常症と治療薬の日米間の比較を通じて」『経営哲学』第21巻第1号, 25-41頁.
 田代昌彦 (2025)「医療イノベーション研究における技術の位置づけの再検討」『経済経営研究』第7巻第1号, 35-54頁.

キーワード

医療技術(医療イノベーション)、社会課題、延命治療、尊厳死